

英語で研究内容発表

国際
学会
有明高専専攻科の松田さん

有明高等工業専門学校専攻科二年生の松田倫明さん(二二)は、七月にあつた集積回路やコンピュータシステムに関する国際学会で、研究内容を発表した。「企業の研究者などが発表する学会。専攻科学生が英語で発表するのは、非常に珍しいケース」と有明高専。

松田さんは、集積回路の演算増幅器を計測するシステムと管理するデータベースシステムを制作。データベースを活用し、効率的な集積回路の設計教育が行なえるようになり、今後の集積回路技術のさらなる発展が見込めるという。国際学会では、その仕組みについて発表し

た。松田さんは「東京工業大学、佐賀大学と連携したプロジェクトでもあります。これまでは、先輩方の集積回路設計が後輩に伝承されるのがあまりなかったのですが、データベースにより、先輩の研究が蓄積され、後輩の学習が従来よりもスムーズになり、技

術発展のスピードがかなり加速する効果が期待されます」と話した。指導した石川洋平准教授は「高専専攻科の学生でも国際学会の場で発表できるように十分な英語教育、世界に負けない研究に取り組んでいることを、皆さんに知っていただければ」と語った。

松田倫明さん 有明工業高等専門学校専攻科二年生 七月に北海道札幌市であった集積回路やコ
ました。高専の専攻科の学生が国際的な学会で発表するのはあまりないケースだと思えます。もちろん集積回路設計教育が今後行なえるようになり、技術



ンピューターシステムに関する国際学会で発表し

ぶらっさろん

英語での発表です。発表したのは、集積回路の演算増幅器を計測するシステムと管理するデータベースシステムを作成したこ
の二層の進歩が期待できます。